

「地球温暖化や気候変動について学ぼう！」開催しました

熊本市を含む熊本連携中枢都市圏※では、令和6年度から令和7年度にかけて「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の第2次計画の策定を行っています。

こどもたちの考えや意見を次期計画の参考とさせていただくため、地球温暖化や気候変動について知り・考えることをテーマに、ワークショップを開催しました。

【開催概要】

実施日時：令和7年（2025年）6月5日

実施場所：必由館高校

対象者：2学年（13人）



地球温暖化や気候変動について知る！

ワークショップ前に実施した出前授業では、「地球温暖化のメカニズム」や「地球温暖化の現状」、「熊本市の地球温暖化対策の取組」について学びました。

また、地球温暖化などの環境問題を自分事にするための取組について、グループごとに話し合い、グループで出た意見を発表しました。

こどもたちに届く広報・啓発活動って？

こどもたちに届く広報・啓発活動について話し合いました。

- ・SDGsを親子で楽しく学べる体験型ワークショップの開催
- ・環境キャラクターの制作
- ・環境関連の漫画やショート動画の制作
- ・SNSで環境に関する情報を発信（身近でできるエコな取組をショート動画で公開など）

参加したいと思う環境イベントって？

参加したいと思う環境イベントについて話し合いました。

- ・体験型イベント（地球温暖化対策をしなかったらどうなるかを知ることができるイベントなど）
- ・参加したら景品（リサイクルされた商品）がもらえるイベント

※熊本連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう中枢都市である熊本市と近隣市町村が連携して様々な取り組みを実施するものです。現在24市町村がさまざまな分野で連携し、取り組みを進めています。次の地球温暖化対策実行計画は、荒尾市を除く23市町村で策定します。（荒尾市は独自で計画を策定済）

地球温暖化や気候変動について考える！

ワークショップでは、「地球温暖化対策として熊本市に行ってほしいこと」や、「カーボンニュートラルを実現した熊本市の姿について」などについてグループごとに話し合い、グループで出た意見を発表しました。

地球温暖化や気候変動への関心について

地球温暖化や気候変動への興味・関心の度合や理由について話し合いました。



「興味・関心がある」と答えた人が大半で、理由として「日常生活で暑いと思うことがあり、どうしたら止められるのか気になるから」、「大人になったときどうなってしまうのかと思ったから」などの意見が出されました。

対策として熊本市に行ってほしいことは？

力を入れてほしいと思う「緩和策」と「適応策」について考えました。

緩和策として「公共交通機関の利用」、「エコバックの利用率増加」、適応策として「自然災害に備えた避難場所の整備」、「街中にシャワーミストを導入（暑さ対策）」、「雨水の有効活用」などの意見が出されました。

地球温暖化対策に取り組むきっかけは？

きっかけになるキーワードやアイデアについて話し合いました。



キーワードとして「危機感」、「社会貢献」が多く、その理由として「熱中症患者が年々増えており、身近な話だと思ったから」、「自分や周りの人のために知識として持ちたい」などの意見が出されました。また、取り組みアイデアとして「地元食材を使った料理」などの意見が出されました。

2050年の熊本市はどんなまち？

カーボンニュートラルを実現した熊本市の姿を考えました。

こどもたちからは、「無駄な生産がなくなり、ごみの少ないまち」、「無人運転が普及して、移動が便利になったまち」、「車の渋滞が減り、二酸化炭素（温室効果ガス）の排出量が少ないまち」などの意見が出されました。